

今年の課題図書



『ふたりのえびす』 高森 美由紀／作 (フレーベル館)



太一は「おもしろいやつキャラ」を演じていた。それは素の自分を隠す防護服みたいなもの。転校してきた優希は、整った顔立ちで女子の注目の的。でも「王子キャラ」を捨てると決めていた。そんな二人が、郷土芸能えんぶりで、えびす舞を披露することになり、練習に励んでいたが…。

『5番レーン』 ウン・ソホル／作 ノ・インギョン／絵 すんみ／訳 (鈴木出版)

水泳部エースのカン・ナルは、最近ライバルに勝てない。きつい練習を休まず頑張ってきたのに。勝つことだけが、全てなのに。結果と過程、大事な何？ 水泳に情熱を注ぎ、成長する姿を描いた青春ストーリー。



『魔女だったかもしれないわたし』 エル・マクニコル／著 櫛田 理絵／訳



(PHP研究所)

アディは学校の授業で、昔、自分の住む村で罪のない女性たちが魔女と疑われ処刑されたことを知る。ただ「人とちがう」というだけで。アディは、村の委員会に彼女たちの慰霊碑を建てる要望をする。アディが慰霊碑にこだわり続けた理由とは？

『中村哲物語』 松島 恵利子／著 (汐文社)

医師の中村哲先生は、戦争や大干ばつに苦しむアフガニスタン、パキスタンで35年にわたり力を尽くしました。その結果65万人の命が救われたのです。哲先生は、何を考えどう行動したのでしょうか。人間にとって大事なことは何なのでしょう。



過去の課題図書



2022年

『りんごの木を植えて』 大谷 美和子／作 白石 ゆか／絵 (ポプラ社)

『風の神送れよ』 熊谷 千世子／作 くまおり 純／絵 (小峰書店)

『ぼくの弱虫をなおすには』 K. L. ゴーイング／作 久保 陽子／訳
早川 世詩男／絵 (徳間書店)

『捨てないパン屋の挑戦』 井出 留美／著 (あかね書房)

2021年

『エコシの森と子馬のポンコ』 加藤 多一／作 大野 八生／絵 (ポプラ社)

『サンドイッチクラブ』 長江 優子／作 (岩波書店)

『おいで、アラスカ！』 アンナ・ウォルツ／作 野坂 悦子／訳 (フレーベル館)

『オランウータンに会いたい』 久世 濃子／著 (あかね書房)



2020年

『ヒロシマ消えたかぞく』 指田 和／著 鈴木 六郎／写真 (ポプラ社)

『月と珊瑚』 上條 さなえ／著 (講談社)

『飛ぶための百歩』 ジュゼッペ・フェスタ／作 杉本 あり／訳

まめふく／イラスト (岩崎書店)

『風を切って走りたい！』 高橋 うらら／著 (金の星社)

